教育かわら版

こんにちは教育委員会です

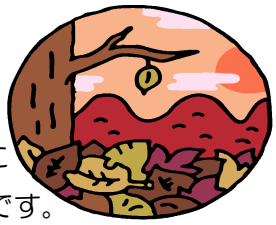
ふたたび

No.１７４
令和４年１０月１７日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

芸術・文化の秋ですね

ほんの少し前に１０月になったなと思っていたのに、もう今月も下旬が近づいています。気がつくと長袖の服。道路の標示には「早めのタイヤ交換」の文字が･･･。黄昏時の美しさと穏やかな落ち着きが心にしみる季節になりました。

『心なき　身にもあはれは知られけり　鴫立つ沢の　秋の夕暮れ』
西行



コロナもあって、正式には招待は届いていませんでしたが、校長先生にお願いして**今金小学校**の学習発表会に出かけてきました。３年ぶりです。

午前中ずーっと子どもたちや先生方、保護者の皆様の姿や雰囲気を、体育館の後方から味わわせていただきました。

感激で、思わずスマホにメモをしてしまいました。

「来て良かった」

演目の素晴らしさのみならず、入退場の素晴らしさ。

音声トラブル発生時の落ち着き　保護者の穏やかさ

閉まっていく幕の中でも、順番が来るまでじっと待っている子どもたちの姿。

先生方と裏方の子のドア開け閉めのタイミングの素晴らしさ

校長先生にも、こうお伝えしました。

素晴らしかったです。演技、入退場の規律性、先生方の動き、接遇。子どもたちの雰囲気。

全て涙が出そうなほど感激しました。人間性、校風の高さを味わわせていただきました。と。



翌１７日・月曜日、**今金中学校**に北海道文化財保護協会から、安部専務理事さんと監事である北海道教育大学名誉教授　木村　方一　先生が来校され、中学１年生に理科の出前授業をしてくださいました。

『令和４年度子どもの文化財愛護活動推進事業　今金町学校出前授業』です。

「ピリカカイギュウとはなにものか？」という講義題で、懐かしいスライド投射機やオーバーヘッドプロジェクターを用いて、興味深い授業を展開してくださいました。

ピリカカイギュウはステラーカイギュウの流れをくむものだと考えられているが、まだ研究途上であり、正式な学名が決まってはいないのだ、と。その研究の続きをする学者が、皆さんの中から出てきますように、と投げかけてくださいました。

私が一番うれしかったのが、子どもたちの様子でした。配布されたプリントを後ろの席の子へ渡す際に、きちんと渡す相手の方を見て優しく手渡ししていたことです。

前日の今小の子の姿がかぶって、「いいなあ」と感激していました。

今週末は種川小学校の学習発表会。こちらは案内が届いています。また、今金の子のうれしい姿が見られますように。

やっぱり現場に行けるっていいなあ。今金の子って、今金の人っていいなあ。

秋が深まっていきます。